

Ⅱ. 主な研究活動

1. SNSを活用したソーシャルビジネス形成における経営資源獲得方法の研究

平成 24 (2012) 年度に始まったサッポロビール株式会社と本学の共同研究の第 2 年度で、本学側の研究者をビジネス創造センターの北川泰治郎准教授が務めています。同社が設置するフェイスブック上の SNS「北海道 Likers」をフィールドに、初年度は「SNS を活用した価値共創に基づく新規事業開発におけるフィージビリティスタディ」をテーマとしましたが、これは CSR (企業の社会的責任) の考え方によるものでした。今年度は CSV (共通価値の創造) の視座で実際の人材育成を試み、そのうえで経営資源の獲得について考察しました。

人材育成としては、まず小樽商科大学およびはこだて未来大学の「港町対決」として、両大学の学生が小樽と函館の魅力、地域資源を調査しました。さらに、小樽商科大学の正規授業「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト」(通称マジプロ、大津晶准教授) のテーマの一つに位置づけ、プロのライターに指導を依頼して、参加学生の記事作成スキルの涵養を試みました。

本研究は社会における大学の役割を実践的に再定義し、同時にそれへのコミットメントがビジネス的にも成り立つ条件を探ろうとするもので、小樽商大発の産学連携研究としてユニークな意味性を持ちます。そのことが認められて、共同研究は平成 26 (2014) 年度も継続されることになりました。



北海道 Likers のフェイスブックページ